



福岡歯科大学同窓会主催 第33回臨床セミナー報告
**「恩師のホワイトニング
 セミナーを受講して」**
 安里 啓(36期生)



講演する松永先生

先日、平成28年2月14日に博多駅前
 口腔医療センターにて、同窓会主催の臨床
 セミナーが開催されました。受講生として
 本セミナーを受講しましたので、同窓会広
 報としてここに報告させていただきます。

「ホームとオフィスホワイトニングの未来
 像ーホワイトニングから始める審美歯科治
 療ー」と題し、講師に福岡市で開業されて
 いる松永歯科クリニック審美インプラント
 センター院長の松永興昌先生をお招
 きし講演していただきました。

松永先生は、福岡歯科大学口腔顔面美
 容医療センター講師から、2011年福岡
 市薬院にて開業され、同時に福岡歯科大学
 咬合修復学講座冠橋義歯学分野臨床教
 授に就任されました。松永先生はホワイト
 ニングのみならず、一般歯科治療はもちろ
 のこと、特にインプラント治療にも精通され
 ており世界的に有名なニューヨーク大学口腔
 インプラント科大学院を2004年に卒業
 されております。留学の経験を生かしたイ
 ンプラント治療の技術や知識は言うまでも
 なく、矯正などの審美治療において患者さ
 んの外見やQOLの向上に寄与する臨床は
 私々後輩に多くの刺激を与えてくれます。



今回のセミナーはそんな松永
 先生の臨床の部であるホワイトニングの技
 を盗もうと、受講生の先生や歯科衛生士の
 方々の熱のこもった受講する姿勢が非常に
 印象的でした。

私事ではありますが、大学4年時、初めての
 専門教科の実習であるクラウンブリッジ実
 習で松永先生にメインライターの指導
 して頂いたのが最初の出会いです。当時は、
 クラウンブリッジはおろか、歯科医療の右も
 左もわからない私に実習内容のみならず、
 医療人としての心構えを教えてくださいと
 のが松永先生でした。
 あれから4年が過
 ぎ、一歯科医師とし
 て松永先生のセミナ
 ーに参加し、学生の
 ころとは違った観点
 から話を伺うことが
 でき嬉しく感じる
 とともに、今回習った
 知識を、今後の診療
 に生かし患者さんへ
 還元できればと思っ
 ております。



同窓会からの手紙
同窓会の役割
 鬼塚 得也(14期生)

私は、大学卒業後、歯周病学分野に22年間在籍し、二昨
 年退職して地元の北九州市に戻って2年が過ぎ、24年が
 経過しました。その間の私と同窓会の繋がりは、平成18
 年から同窓会本部理事、平成23年に学内支部会長、平成
 27年から福岡県北支部専務をさせて頂いております。同
 窓会は、高校野球部OB会以外経験したことのない私で
 したが、会務を行っていくなかで、縦の繋がりを始めとし
 た人間関係と一致団結することが重要であることを再確
 認しました。このことは、歯科に限らず様々な社会生活に
 おいても重要な事であると同時に忘れがちな部分でもあ
 ると思います。災害が起こった時に考えるのではなく、日
 頃から意識を持つておかなければならないことだと思っ
 ます。私個人が考える同窓会というのは、歯科医療の現
 場を教えてくれる場だけでなく、前述の事を教示し再認
 させてくれる場であるとも思っています。さらには、同
 窓生からの紹介により国内外の医療関係の方はかりで
 なく、様々な方々との交流が広がっていくのではないかと
 考えます。

そこで、これらのことを後輩たちに伝え、より多くの絆を
 深め、今後の歯科医療と社会生活に活かしていかなければ
 ならないと考えています。その手段として、様々なOB会、
 県人会・市人会での親睦会を開催していくことで、絆がよ
 り深まっていくものであると考えています。このことは、福
 岡歯科大学の発展にもつながるものと思っています。

クリニックからこんにちは!



「心技体知」を心にもつてこれ
 からの歯科医師生活を送りたい
 と思います。



「心技体知」

みやのじん歯科クリニック(久留米市宮の陣)
 本田 攻(25期生)

こんにちは。25期生卒の本田攻です。卒業後大学の
 障がい者歯科に4年残り5年の歯科医勤務を経て現
 在の医院を開業いたしました。

学生時代はろくに勉強もせず当時所属していた硬
 式庭球(テニス)部で部活三昧の学生生活を送っており
 ました。部活においても上達に必要な基礎の部分が大
 切と思いつつなりに基礎練習に力を入れてきました。
 開業して4年になりますが自分の技術、人間性、こだわ
 りなど他の先生たちとかかわれば全然まだまだだと感
 じます。勉強会にいくと今まで自分が取り組んでき
 たことは何だったのだろうと思う場面も多々あり、この
 世界の奥深さに楽しさを覚えるようになってきました。
 自分にとって必要なことは学生時代のようにテニスばか
 りではなく技術、知識、人間性、健康にとバランスよくパ
 ラメーターを増やし診療にあた
 ることかなと今は思っています。

卒業生
NOW

「卒業後16年目を迎えて」

佐々木 誠(23期生)

皆様こんにちは。23期卒業の佐々木誠と
 申します。振り返りますと早いもので卒業
 して16年を数える事となりました。福岡歯
 科大学愛媛県同窓会に入会し同窓の先生
 方に理想の歯科医師の姿を重ねている今日
 この頃であります。

私は今年、開業10年目を迎えます。学生
 時代から予防歯科に傾倒しておりました。
 そのスタイルの診療をと日々心掛けており
 ます。私の町では全ての小学校でフッ素洗口
 を実施しております。その事業に少しでも
 携われることが出来たのは嬉しい事でした。
 しかし既に虫歯を抱えている患者さんの来
 院の方が遥かに多いのが現実。当歯科医院
 ではインプラントも矯正もしておりません。
 全ての症例に対応出来ない歯痒さを抱えな
 がら1人の患者さん、1つの症例に向き合う
 毎日です。出来る事を真摯に積み重ねる事
 で生まれる何かがあると信じております。

この原稿を書かせて頂くに当たり集合
 写真を撮りました。開業当初2名だったス
 タッフが現在は8名。開業当初はうちの患
 者さんだった高校生が衛生士として働いて
 くれてます。私は今年40歳になります。
 不惑の年と言われていますが、まだまだ感
 惑はばかりでございます。患者さんやスタッフ、

業者さん等周りに支えられて今の所、頑張
 りております。順調に進んでいる時は誰も
 問題を指摘しませんし自覚もしないもの。
 しかし調子が悪くなつてから発覚する問題
 は実は調子が良い時に既に発生している事
 が多いのではないかと。そのような事象に気
 付くために各種勉強会に顔を出しているは
 ずです。問題を見つける事は問題を解決す
 る事より難しい事。しかし年と共に頑固に
 なり変なプライドを持ち始めている事を怖
 れております。風に吹かれて何かを悟る人
 もいると聞きます。その境地に行かなくて
 も素直で敏感な心を持つていたいものです。
 同窓の先生方は私にとって良い方向へ導いて
 くれる風のように感じます。時に自分を離
 れ全体を俯瞰する視線を持ち、風が吹いた
 時に前に進める
 ようしっかりと帆
 を張れるように。
 今年の日本歯科
 医学会総会は福
 岡で行われるよ
 うです。皆様
 にお会いできること
 を楽しみにして
 おります。

